

麻生区町連だより

2009(平成21)年2月1日発行



しんしりし・茨城のまち

発行所 麻生区町会連合会
 会長 飯塚 馨
 発行人 川崎市麻生区役所
 事務局 地域振興課地域活動支援
 電話 965-5113

印刷 メディスタくらしの窓新聞社



新年のごあいさつ

麻生区町会連合会会長

飯塚 馨

新年明けましておめでと

うございます。

平成21年の新春を、区民の皆様と共に迎えることができましたことを、心よりお慶び申し上げます。

日々、麻生区町会連合会の運営に対し、町会・自治会の方々の一方ならぬご支援、ご協力を賜り衷心より感謝申し上げます。

昨年は、冷凍食品への農業混入、世界的な金融危機による国内の景気後退、企

業の業績悪化による派遣労働者の失業問題、秋葉原などで起きた無差別殺傷事件

や「振り込め詐欺」事件の増加など、私たちが生活していくうえでの安全や安心を脅かす出来事が多く発生しました一年であったかと思ひます。

こうした厳しい社会情勢・経済状況の中で、町会・自治会の皆様方にあっては、各地域において自主防災活動、防犯灯の維持管理、防犯パトロールなどの安全管理などづくりへの取り組み、こみの減量化や公園・道路の清掃などのきれいなまちづくりへの取組みなど、住民自治活動を通じて安全で明るく住みよいまちづくりを積極的にすすめます。

当連合会としても、町会・自治会長を対象とした諸会議や研修・勉強会の開催、主要幹線道路の整備や市営地下鉄問題などの懸案事項について関係各局への要望、町連だよりの発行、地域防犯・防火・防災活動への支援などに取り組んでいます。また昨年から、麻生区役所と協働して、町会・自治会推薦による麻生区地域功労賞制度や麻生区町内

会員の皆様並びに町会・自治会の益々の御発展を心より御祈念申し上げ、年頭のあいさつと致します。

今年度は、黒川・はるひ野地区の大型農産物直売所「セレサモス」、市川黒川町内会会長所有の野菜ハウス、「はるひ野小・中学校」を見学し、その後、はるひ野黒川地域交流センターにて、梅澤はるひ野町内会会長と市川会長から各町会の概要について説明を受けました。

施設面においても、個々の教室などが開放的な空間の中にあり、教室の外側にあるオープンスペースでは、子どもたちが自主的に遊びや学習をすることができるなど、子どもたちの成長に合わせた環境づくりがなされています。

このように、住民自治の活性化と住民の福祉の向上のため、行政をはじめ、各種団体と緊密な協働のもと、安全で安心して暮らせるまちづくりを目指して、今後とも尽力して参りたいと存じます。

最後に、区民の皆様並びに町会・自治会の益々の御発展を心より御祈念申し上げ、年頭のあいさつと致しました。

今年度は、黒川・はるひ野地区の大型農産物直売所「セレサモス」、市川黒川町内会会長所有の野菜ハウス、「はるひ野小・中学校」を見学し、その後、はるひ野黒川地域交流センターにて、梅澤はるひ野町内会会長と市川会長から各町会の概要について説明を受けました。

会長を対象とした勉強会を開催しました。

今年度は、黒川・はるひ野地区の大型農産物直売所「セレサモス」、市川黒川町内会会長所有の野菜ハウス、「はるひ野小・中学校」を見学し、その後、はるひ野黒川地域交流センターにて、梅澤はるひ野町内会会長と市川会長から各町会の概要について説明を受けました。

今年度の川崎市自治功労者表彰に、麻生区から志田弘一會長(下麻生自治会)が選ばれました。

自治功労者表彰は、町内会長などを10年以上務め、地域住民の福祉増進と住民が選ばれました。

今年度の川崎市自治功労者表彰に、麻生区から志田弘一會長(下麻生自治会)が選ばれました。

自治功労者表彰は、町内会長などを10年以上務め、地域住民の福祉増進と住民が選ばれました。